



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月11日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com/japanese/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 華代

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画・経理部長 (氏名) 霜田 正樹

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,931	34.1	276	62.2	262	64.3	146	4.8
2024年2月期第1四半期	3,679	48.3	170		159		139	

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 231百万円 (28.7%) 2024年2月期第1四半期 179百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	69.88	
2024年2月期第1四半期	66.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	17,956	3,716	20.7	1,773.10
2024年2月期	17,087	3,526	20.6	1,682.87

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 3,716百万円 2024年2月期 3,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		20.00	20.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,301	26.5	430	50.2	376	38.4	228	5.2	109.04
通期	17,354	15.3	711	61.0	600	47.3	405	1.9	193.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	2,099,376 株	2024年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	3,596 株	2024年2月期	3,596 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	2,095,780 株	2024年2月期1Q	2,095,807 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年5月31日）におけるわが国の経済は、前連結会計年度に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況が沈静化して正常化が大きく進みましたが、インフレによって実質賃金が減少するなど力強さを欠き、回復は緩やかなものに留まっております。海外各国は、欧米ではインフレと金融引き締めの影響を受けていますが緩やかな成長基調にあるのに対し、中国経済は不動産不況を背景に内需が弱含んで力強さを欠くなど、地域間の跛行性が見られます。また、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化、中東情勢の悪化もあって地政学的リスクは高止まり、資源・エネルギー価格の上昇や物流の遅延等が日本を含めた世界的なインフレや金利上昇に波及、為替相場の変動も引き起こし、経済活動に影響を及ぼすと共に先行き不透明感を高めております。

化粧品業界におきましては、メイクアップ製品を中心に、需要は改善の傾向が続いております。国内では、個人消費はメイクアップ製品を中心に新型コロナウイルスの感染拡大前を依然下回っておりますが、足元では消費マインドも大きく改善しているものと思われれます。新型コロナウイルス禍で低調だった新製品発売も大きく回復し、需要喚起に貢献しているものと思われれます。海外においても化粧品需要は回復の傾向にあるものと思われれます。

当社グループにおきましては、国内・海外化粧品メーカーからの受注は回復・増加しつつあり、足元は大口受注獲得もあって、つくば工場第3期拡張等の設備投資によって実現した生産設備の稼働が向上しております。一方で、特に国内での採用難による工数不足をまかなうための外注加工費の上昇や、原材料費や各種経費等もインフレで上昇していることから、各種コストの圧縮努力を継続し、収益性の維持・改善に取り組んでおります。

今後も、化粧品需要の緩やかな回復・成長基調は継続していくと思われれますが、全般的なインフレ、採用難や人件費上昇、金利上昇や為替変動等も継続しており、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢のような地政学的リスクも高止まりしていることから、引き続き経済全般の先行き不透明感が残ります。そのような経営環境下、黒字の継続と成長に向けて「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」の諸施策を着実に実行してまいります。当面は新型コロナウイルス感染症の影響軽減に伴う需要急増への対応でお客様の要請に応え、中長期的には化粧品へのクリーン・ビューティー、SDGs等への要請に対応するなど、変化し続ける環境で強みを活かして業績の改善を図るべく更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、前連結会計年度からの新型コロナウイルス感染症の影響大幅軽減による化粧品需要の回復に向けた、大口受注を含む国内・海外向け受注の回復と、円安が進んだこともあって、前年同期比34.1%増の4,931百万円となりました。

利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等により諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等がインフレで上昇している中ではありますが、受注増による生産設備の稼働向上と各種コスト圧縮努力により、営業利益は前年同期比62.2%増の276百万円、経常利益は前年同期比64.3%増の262百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.8%増の146百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

前連結会計年度に新型コロナウイルス感染症の社会・経済への影響は大きく軽減、化粧品市場への影響は依然として残るものの需要は回復しつつあり、国内・海外化粧品メーカー各社からの受注が回復・増加している中で新製品の大口受注の影響もあり、売上高は前年同期比49.5%増の3,737百万円となりました。利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等による諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等もインフレで上昇している中ではありますが、大口受注もあって生産設備の稼働は向上、各種コスト圧縮努力もあって、営業利益は前年同期比550.4%増の331百万円となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.と子会社Nippon Shikizai France S.A.S.の所在する欧州は、当第1四半期連結累計期間（1～3月）において、景気は依然として低迷している中で底打ちの動きもありますが、医薬品及び化粧品の受注は前連結会計年度の回復ペースが鈍化してユーロ建ての売上高は減収、円安の為に円建ての売上高は前年同期比0.1%増の1,214百万円とほぼ横ばいとなりました。利益面では、ユーロ建て売上高の減収に加えて人件費や諸物価の高騰もあり、54百万円の営業損失（前年同期は118百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、869百万円増加し、17,956百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が817百万円、固定資産が52百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、受取手形及び売掛金が879百万円、電子記録債権が162百万円、棚卸資産が113百万円増加し、現金及び預金が376百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建設仮勘定が136百万円増加し、建物及び構築物が44百万円、投資その他の資産が43百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、680百万円増加し、14,240百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が669百万円、固定負債が11百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が374百万円、賞与引当金が159百万円、電子記録債務が137百万円増加したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が20百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、189百万円増加し、3,716百万円となりました。増加要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円等により104百万円、その他の包括利益累計額合計が84百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2024年4月11日に公表いたしました2025年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,795	1,017,493
受取手形及び売掛金	2,234,430	3,114,183
電子記録債権	149,087	311,378
棚卸資産	3,107,344	3,220,680
その他	251,695	291,174
貸倒引当金	△2,220	△3,547
流動資産合計	7,134,132	7,951,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,714,399	4,669,740
機械装置及び運搬具（純額）	1,502,864	1,517,382
土地	2,027,748	2,028,327
建設仮勘定	438,406	574,879
その他（純額）	348,275	348,536
有形固定資産合計	9,031,693	9,138,866
無形固定資産	260,467	249,720
投資その他の資産		
投資有価証券	293,661	321,326
その他	380,952	309,700
貸倒引当金	△13,837	△14,154
投資その他の資産合計	660,776	616,871
固定資産合計	9,952,938	10,005,458
資産合計	17,087,070	17,956,821
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,894	905,843
電子記録債務	1,387,301	1,524,867
短期借入金	2,913,451	3,288,121
賞与引当金	70,203	229,800
その他	1,534,926	1,531,391
流動負債合計	6,810,777	7,480,023
固定負債		
長期借入金	6,147,558	6,168,456
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	95,609	103,015
その他	359,768	342,859
固定負債合計	6,749,365	6,760,761
負債合計	13,560,143	14,240,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,510,339	1,510,339
利益剰余金	1,544,397	1,648,936
自己株式	△3,983	△3,983
株主資本合計	3,150,752	3,255,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,294	136,415
為替換算調整勘定	257,880	324,330
その他の包括利益累計額合計	376,175	460,745
純資産合計	3,526,927	3,716,036
負債純資産合計	17,087,070	17,956,821

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）
売上高	3,679,115	4,931,954
売上原価	3,135,130	4,213,168
売上総利益	543,984	718,786
販売費及び一般管理費	373,227	441,787
営業利益	170,757	276,999
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,770	1,993
為替差益	12,512	7,487
受取家賃	—	5,351
雑収入	5,731	7,405
営業外収益合計	21,014	22,237
営業外費用		
支払利息	31,929	36,692
営業外費用合計	31,929	36,692
経常利益	159,842	262,544
特別利益		
固定資産売却益	—	518
特別利益合計	—	518
特別損失		
固定資産除却損	203	0
特別損失合計	203	0
税金等調整前四半期純利益	159,639	263,063
法人税、住民税及び事業税	41,739	3,873
法人税等調整額	△21,784	112,734
法人税等合計	19,954	116,608
四半期純利益	139,684	146,454
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,684	146,454

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）
四半期純利益	139,684	146,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,740	18,120
為替換算調整勘定	43,556	66,450
その他の包括利益合計	39,816	84,570
四半期包括利益	179,500	231,024
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,500	231,024
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	2,276,416	16,754	2,293,171	△330	2,292,840
日本以外向け	223,770	1,196,873	1,420,644	△34,369	1,386,275
顧客との契約から生じる収益	2,500,187	1,213,628	3,713,815	△34,700	3,679,115
外部顧客への売上高	2,465,817	1,213,297	3,679,115	—	3,679,115
セグメント間の内部売上高又は 振替高	34,369	330	34,700	△34,700	—
計	2,500,187	1,213,628	3,713,815	△34,700	3,679,115
セグメント利益	51,025	118,851	169,876	880	170,757

(注) 1. セグメント利益の調整額880千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	2,757,920	727	2,758,647	△727	2,757,920
日本以外向け	979,337	1,213,969	2,193,307	△19,272	2,174,034
顧客との契約から生じる収益	3,737,258	1,214,696	4,951,954	△19,999	4,931,954
外部顧客への売上高	3,717,985	1,213,969	4,931,954	—	4,931,954
セグメント間の内部売上高又は 振替高	19,272	727	19,999	△19,999	—
計	3,737,258	1,214,696	4,951,954	△19,999	4,931,954
セグメント利益又は損失(△)	331,889	△54,436	277,452	△453	276,999

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△453千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。